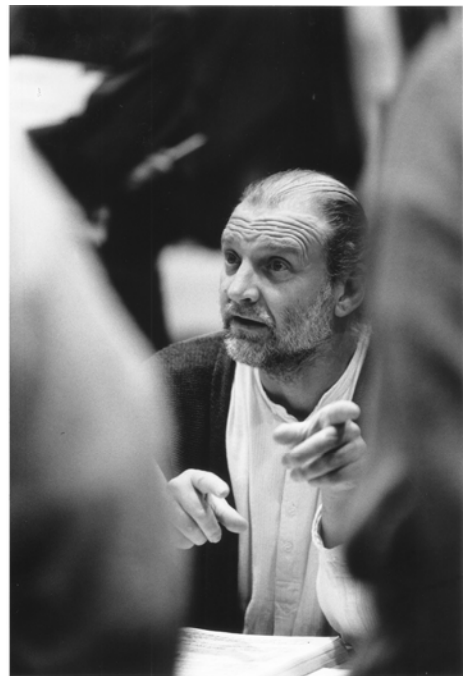


# ペーター・コンヴィチュニー オペラ演出ワークショップ in びわ湖ホール 受講者募集



演出家や演出家を志す方の育成を目的に、世界的な演出家ペーター・コンヴィチュニー氏とともにオペラ演出の可能性を探るワークショップを開催します。このワークショップは、びわ湖ホール・昭和音楽大学・Goethe-Institut(ドイツ文化センター)が共同で開催するものです。プッチーニの歌劇《蝶々夫人》全幕を実際に演出することを通してオペラ演出を学びます。キャストは日本の明日のオペラ界を担う若手歌手たちが務めます。コンヴィチュニー氏のオペラ演出の哲学と手法にふれるまたとないチャンスですので、多くの方のご応募をお待ちしています。

なお、今回、オペラ歌手・オペラの音楽スタッフを志す方、音楽・演劇を学ぶ学生の方で聴講を希望される方も同時に募集します。(ドイツ語逐時通訳付き)

- 日 程 2010年7月31日(土)~8月6日(金) 全7日間  
 会 場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール リハーサル室  
 対 象 受講者 演出家、演出家を志す方  
 聴講者 オペラ歌手・オペラの音楽スタッフおよびこれらを志す方  
 演劇・音楽を学ぶ学生  
 楽譜は各自ご用意ください。応募多数の場合は書類にて選考します。
- 受講料 7千円(全日程7日間)  
 聴講料 7千円(全日程7日間) 8月6日発表会のための聴講は2千円  
 申込方法 別紙申込書に記入の上、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
 締切日 7月9日(金) 当日消印有効

## ペーター・コンヴィチュニー Peter Konwitschny

高名な指揮者フランツ・コンヴィチュニーを父として1945年にドイツに生まれた。ベルリンでオペラ演出を学び、1980年以降ドイツを中心とする著名歌劇場で数多くのオペラ演出を手がけ、現代屈指のオペラ演出家として活躍中。数々の作品の中でもグラーツの《アイダ》《ファルスタッフ》、ハンブルクの《ローエングリン》、シュトゥットガルトの《神々のたそがれ》、ハノーファーの《慈愛に満ちた大きな太陽の下で》等は、コンヴィチュニー演出の最高傑作として高い評価を受けている。これまでにDDR芸術賞(旧東ドイツ)、ベルリン芸術アカデミーのコンラート・ウォルフ賞、ドイツ連邦功労十字賞などを受賞。日本では、2006年に《魔笛》(シュトゥットガルト州立歌劇場)、2008年《エフゲニー・オネーギン》(東京二期会)《アイダ》の上演に記念に新しい。2008年よりライプツィヒ歌劇場の首席演出家を務め、《月に憑かれたピエロ》《ローエングリン》《アルセスト》《バッハ・イエリネク・プロジェクト》など新演出を相次いで発表し注目を集めている。

### プログラム プッチーニ 歌劇 蝶々夫人 全幕

	10:00~13:00	14:30~17:30
7月31日(土)	ワークショップ1	ワークショップ2
8月1日(日)	ワークショップ3	ワークショップ4
8月2日(月)	ワークショップ5	ワークショップ6
8月3日(火)	ワークショップ7	ワークショップ8
8月4日(水)	ワークショップ9	ワークショップ10
8月5日(木)	ワークショップ11	ワークショップ12 GP
8月6日(金)	リハーサル	公開発表会

[主催] 財団法人びわ湖ホール 昭和音楽大学 Goethe-Institut(ドイツ文化センター)

[協力] 大阪音楽大学 [後援] 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

[お申し込み・お問い合わせ] びわ湖ホール事業部 オペラ演出ワークショップ係(担当:池澤)

〒520-0806 大津市打出浜 15-1

Tel: 077-523-7152 Fax: 077-523-7147 <http://www.biwako-hall.or.jp>

